

今月の写真/JGSニュースレター2017年15号（4月12日発行）

「天然ブルーサファイア中のジルコンハロー」



撮影・文： 高橋 泰（倍率×62で撮影）

天然の結晶は他の鉱物を取り込んでいることがある。母岩中に共生する結晶をのみ込んで成長することがよくあるからだ。水晶中のルチル、エメラルド中のパイライトなど見た目が綺麗なものも多い。写真はサファイアの中のジルコンである。透明な結晶の周囲にみられる褐色の部分はジルコンの出す微量な放射線で周囲の結晶が割れて着色されているものだ。放射線の影響でできたクラックはハロー（後光のこと）と呼ぶので、通称“ジルコンハロー”である。ものによっては小さな羽虫が羽ばたいているようにも見える。放射線というと警戒されるご時世であるが、数10ミクロンの範囲であり、人体に影響はない。写真はコランダムであるが、同じく古い変成岩を母岩とするガーネットにもよく見つかるインクルージョンである。